

製品の特徴

オガファーマーは、ドイツのヴァパータールにある1827年創業の会社で作ったドイツ国内に広く普及している一般的な紙クロスです。ウッドチップクロスのおガファーマーNEWは、ドイツの新聞紙の再生紙と、木の製材時にでるおがくずを使って作られています。製法も環境負荷が少ないことから世界から高い評価を受け、世界30カ国に普及しています。基本的には、塗装用の下地壁紙として使うため、仕上げは自然塗料で仕上げます。

通気性・透湿性など天然素材の特性をそのままに、室内を快適に保ちます。また、ビニールクロスに起こりやすい結露を軽減しカビの発生を抑えます。

厚みが薄く、ウッドチップを挟み込んでいるため、重ね断ちや重ね貼りには不向きな製品です。突きつけ施工をお願いいたします。

製品仕様

● 全成分

再生紙(70～75%)、木繊維/ウッドチップ(25～30%)、補強剤/寸法安定剤(1%未満)

● 用途

塗装下地用壁紙

● 基礎下地

モルタル壁、コンクリート壁、珪酸カルシウム板無機質板類、石膏ボード、パルプセメント板、合成板壁など 内壁、天井に適しています。

● 参考施工面積

93.75㎡／1巻

● サイズ

75cm幅×125m／1巻

● 種類(計2種類)

スモール (DFFG) ／ ミックス (DKMG)



スモール (DFFG)



ミックス (DKMG)

推奨副資材・工具

● 下地調整剤



パラダインシーラー セットアップ (ウォールボンド工業株式会社)

石膏ボード、ベニヤ／コンパネ、モルタル、ケイカル板、塗り壁などの吸水性下地調整剤。3倍希釈で塗布し、完全乾燥。ベニヤ／コンパネのアク止め効果あり。

- ・容量：4kg
- ・使用タイプ：希釈使用タイプ
- ・施工可能面：約80～120㎡ (3倍希釈＝本品1：水2)

● 接着剤



ウォールボンド200 (ウォールボンド工業株式会社)

汚れ防止やカールクセの強い特殊壁紙に最適な原液使用タイプの接着剤。エチレン酢ビ (390クリーン) が4kg程入ること耐水、耐久性が向上。ウォールボンド100の2倍強の設定。粒子が大きいので糊溜まりができてにくい。

- ・容量：18kg入り
- ・標準希釈：原液使用
- ・施工可能面積：約80～100㎡

● 工具、その他

NewコテバケPRO (大塚刷毛製造株式会社)

シーラー塗布に使用。塗布がとてもスムーズに。パッドは着脱・洗浄が可能。



ローラーバケ (極東産機株式会社など)

材料を傷めないように、柔らかいものを使用。



テーパーローラー (極東産機株式会社など)

円錐状のローラーを使用することで、力を入れずにエアーを抜くことが可能。



ドイツ製 ウッドチップクロス オガファーマーNEW 施工要領書 - ③

2023.8.28版

※ 塗装用の下地壁紙として、塗装の重ね塗りに耐える施工を行う

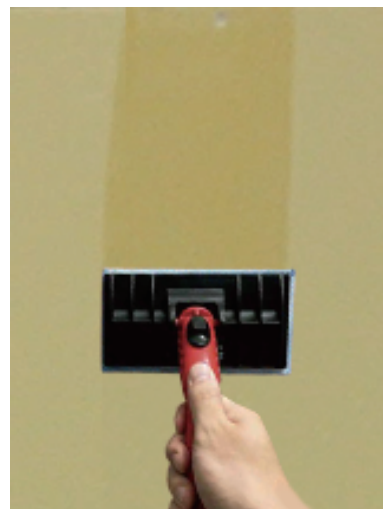
1 下地調整



シーラーセットアップによる下地処理が必須。
石膏ボード表面 (ライナー紙) の強化にもなる。

※ (3倍希釈＝本品1:水2) で使用

シーラー塗布には、
NewコテバケProを使用すると塗りやすい。



2 糊付け時の裁断寸法

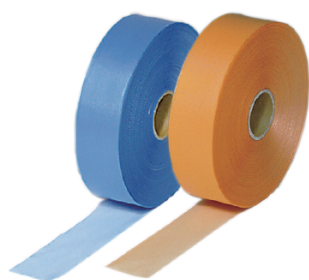
糊付け時の裁断寸法は、施工面の実寸法に上3cm、下3cm、約6cm をプラスして切る。

3 糊付け・養生



オガファーマーは基本的に糊付機に通すことが可能。

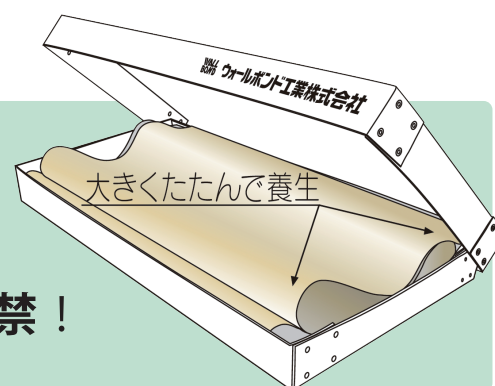
接着剤はウォールボンド200を使用。機械付けでは塗布量(約80～100㎡)
ボンドが多い分乾燥が早いので速度はゆっくり行い、塗布ムラを防ぐ。



糊付け時に、**材料の両サイドにカットテープを入れる**。これにより耳部分の糊の乾燥を防ぎ、相手側の表面に糊が付着することを防ぐことができる。また、施工時にカットテープを抜くことで、テープに付着した分の糊厚が薄くなり初期接着を早くできる。

※重ね切りではない為、下敷きテープは不要。

通気性が大きく、汚れもつきやすいため
糊付け後は大きくたたみ、あまり重ねない。
必ずクロスボックスに入れ養生。**縦置きは厳禁！**



4

オープンタイム

糊付け後、**10分ほどのオープンタイム**が目安。施工時期、施工環境、下地の種類により、適切に設定下さい。(紙のため多少の伸縮があります)

5

貼り付け・撫で付け

**オガファーマーはクロスを重ねないで突きつけ貼りで施工。
(※材料をできるだけ痛めないような施工を行う)**

1. 貼り出し

墨出し機などで垂直線を出し、線を基準に貼る。



2. 撫で付け

材料を傷つけないように、柔らかいローラーバケを使用。まずは目の高さあたりから、**刷毛を斜めに構え、縦方向へ撫で付ける**。

※クロスは横方向へ伸びるため、伸びを助長させる横方向への撫で付けは厳禁。幅の伸びが不揃いとなり、突きつけがきれいに収まらなくなる。



3. カットテープを引き抜く

カットテープは**横に引きながら抜く**。糊を削り取らないように注意する。



6

切り付け

回り縁や巾木部は竹ベラできめこみ、地ベラを当てカッターで切り付ける。ボードを切ってしまうと仕上の塗料が乾くにつれて目開きが起きるので注意。

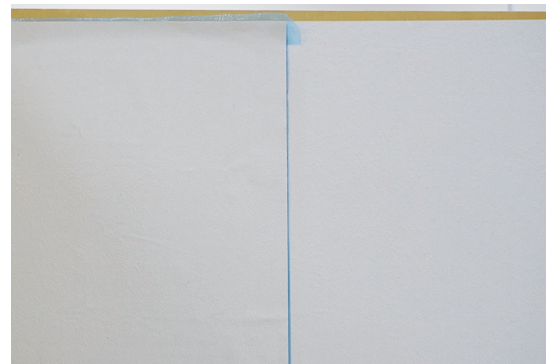
7

突きつけ・ローラー掛け

1. 貼り付け(2枚目以降)

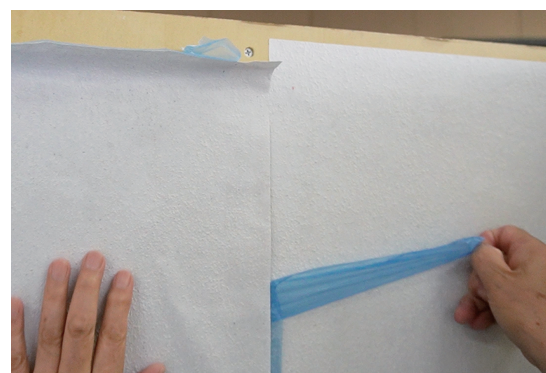
カットテープがあるので見えづらいが、縦をピッタリ合わせながら、壁に貼り付ける。1枚目と同じようにローラーバケを使用し、斜めに構え縦方向へ撫でながら、エアーを抜く。

※ジョイント部は強く撫で付けない。



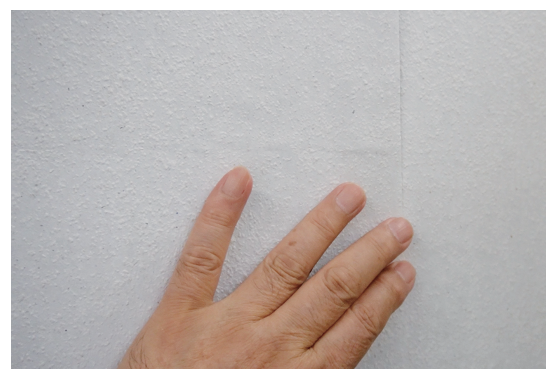
2. カットテープを引き抜く

まずは中央あたりまでカットテープを抜く。横方向に引きながら抜く。相ハギが起きていないか必ず裏を確認する。



3. ジョイントを突き合わせる

少し開いてから端を突くようにして、ジョイントを合わせていく。少し隙間(約髪の毛1本分)が開く程度。ジョイントの横にエアーの溜まりができるが、ローラー掛けをすることで抜けるので気にしなくてよい。



4. ローラー掛け

テーパーローラー(円錐形)を使用。まずは、ジョイント部を軽く押さえる。その後、ジョイントに対し斜め方向にローラーを動かすことで、自然とエアーが抜けていく。強くかけすぎないこと。

※残りの下半分も1~4の手順でジョイントしていく。



8

乾燥

急激な乾燥は避け、接着が安定するまで自然乾燥(約10~24時間以上)させる。

9

塗装

施工の24時間後が最適。糊が乾く前に塗装すると剥がれの恐れがある為、塗装は糊が完全に乾燥してから仕上げるようにする。